

# CLUSTERPRO<sup>®</sup> X *for Windows*

PPガイド(eTrust Antivirus)

2012.08.10  
第01版

**CLUSTERPRO**

改版履歴

版数	改版日付	内容
1	2012/08/10	PPガイドより分冊し、新規作成

© Copyright NEC Corporation 2008. All rights reserved.

## 免責事項

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任をおいませぬ。

また、お客様が期待される効果を得るために、本書に従った導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

本書に記載されている内容の著作権は、日本電気株式会社に帰属します。本書の内容の一部または全部を日本電気株式会社の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは禁止されています。

## 商標情報

CLUSTERPRO® X は日本電気株式会社の登録商標です。

Intel、Pentium、Xeonは、Intel Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載されたその他の製品名および標語は、各社の商標または登録商標です。

Oracle Parallel Serverは米国オラクル社の商標です。

その他のシステム名、社名、製品名等はそれぞれの会社の商標及び登録商標です。



# 目次

はじめに .....	i
対象読者と目的 .....	i
適用範囲 .....	i
CLUSTERPRO マニュアル体系 .....	ii
本書の表記規則 .....	iii
最新情報の入手先 .....	iv
<b>第 1 章 eTrust Antivirus.....</b>	<b>1</b>
機能概要 .....	1
機能範囲 .....	2
動作環境 .....	2
ライセンス .....	2
インストール手順 .....	2
注意事項 .....	2



# はじめに

## 対象読者と目的

『CLUSTERPRO® PPガイド』は、クラスタシステムに関して、システムを構築する管理者、およびユーザサポートを行うシステムエンジニア、保守員を対象にしています。

本書では、CLUSTERPRO環境下での動作確認が取れたソフトウェアをご紹介します。ここで紹介するソフトウェアや設定例は、あくまで参考情報としてご提供するものであり、各ソフトウェアの動作保証をするものではありません。

## 適用範囲

本書は、以下の製品を対象としています。

CLUSTERPRO X 2.1 for Windows

CLUSTERPRO X 2.0 for Windows

CLUSTERPRO X 1.0 for Windows

## CLUSTERPRO マニュアル体系

CLUSTERPRO のマニュアルは、以下の 4 つに分類されます。各ガイドのタイトルと役割を以下に示します。

### 『CLUSTERPRO X スタートアップガイド』(Getting Started Guide)

CLUSTERPRO を使用するユーザを対象読者とし、製品概要、動作環境、アップデート情報、既知の問題などについて記載します。

### 『CLUSTERPRO X インストール & 設定ガイド』(Install and Configuration Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアと、クラスタシステム導入後の保守・運用を行うシステム管理者を対象読者とし、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システム導入から運用開始前までに必須の事項について説明します。実際にクラスタ システムを導入する際の順番に則して、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの設計方法、CLUSTERPRO のインストールと設定手順、設定後の確認、運用開始前の評価方法について説明します。

### 『CLUSTERPRO X リファレンス ガイド』(Reference Guide)

管理者、およびCLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアを対象とし、CLUSTERPRO の運用手順、各モジュールの機能説明、メンテナンス関連情報およびトラブルシューティング情報等を記載します。『インストール & 設定ガイド』を補完する役割を持ちます。

### 『CLUSTERPRO X 統合WebManager 管理者ガイド』(Integrated WebManager Administrator's Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタシステムを CLUSTERPRO 統合WebManager で管理するシステム管理者、および統合WebManager の導入を行うシステムエンジニアを対象読者とし、統合WebManager を使用したクラスタシステム導入時に必須の事項について、実際の手順に則して詳細を説明します。



## 本書の表記規則

本書では、「注」および「重要」を以下のように表記します。

---

**注:** は、重要ではあるがデータ損失やシステムおよび機器の損傷には関連しない情報を表します。

---

**重要:** は、データ損失やシステムおよび機器の損傷を回避するために必要な情報を表します。

---

**関連情報:** は、参照先の情報の場所を表します。

---

また、本書では以下の表記法を使用します。

表記	使用方法	例
[ ] 角かっこ	コマンド名の前後 画面に表示される語 (ダイアログ ボックス、メニューなど) の前後	[スタート] をクリックします。 [プロパティ] ダイアログ ボックス
コマンドライン中の [ ] 角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します。	<code>clpstat -s[-h host_name]</code>
モノスペースフォント (courier)	コマンド ライン、関数、パラメータ	<code>clpstat -s</code>
モノスペースフォント <b>太字</b> (courier)	ユーザが実際にコマンドプロンプトから入力する値を示します。	以下を入力します。 <code>clpcl -s -a</code>
モノスペースフォント (courier) <b>斜体</b>	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目	<code>clpstat -s [-h host_name]</code>

## 最新情報の入手先

最新の製品情報については、以下のWebサイトを参照してください。

<http://www.nec.co.jp/clusterpro>

# 第 1 章 eTrust Antivirus

## 機能概要

eTrust Antivirus の運用は、現用系と待機系で別々に運用する形態となります。現用系と待機系の両方で同じツールを使用します。

切替パーティションのウィルスチェックは、システム担当者が現用／待機両系の動作を考慮して設定します。

運用例： eTrust Antivirus は現用/待機両系のローカルディスクにインストールし、両系でウィルスチェックジョブをスケジュールします。ただし、eTrust Antivirus 管理サーバを使用している場合には、eTrust Antivirus 管理サーバでクラスタを構成するサーバを同じ組織(ブランチ)に割り当て、作成したスケジュールジョブのポリシーを組織(ブランチ)に対して適用する事で、すべてのクラスタ構成サーバに同じスケジュールジョブを設定できます。

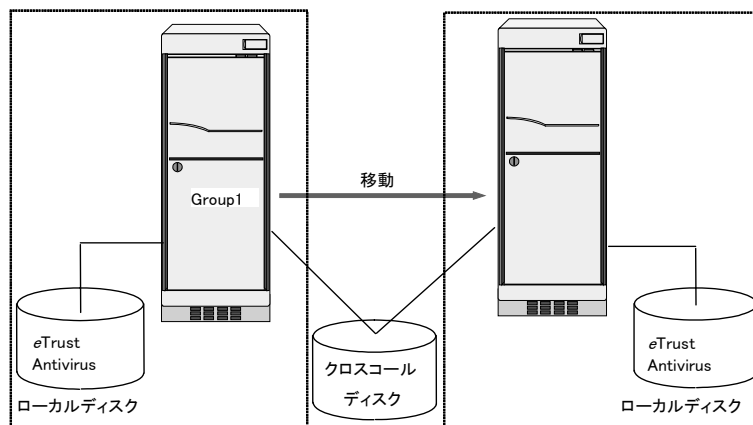
スキャン対象を「マイコンピュータ」(すべてのローカル Disk ドライブ)で指定しておけば、ダウン、フェイルオーバー、グループの移動等が発生したとしても、アクセス可能な Disk をスキャンします。すべての Disk ドライブを選択する場合はすべての Disk ドライブを選択しジョブ/ジョブポリシーを作成します。

→Server1 がダウン後、フェイルオーバーグループ Group1 が Server2 に移動します。(Server1 の所有だった切替パーティションも Server2 へ移動します。)

その場合、Server2 のスケジュールスキャンで、スキャン対象ドライブを「マイコンピュータ」として指定していれば、Server2 にて Group1 が起動(\*1)した直後のタイミングから、そのドライブも Server2 のスキャン対象となります。

(\*1)切替パーティションが活性化された

図



## 機能範囲

eTrust Antivirus は現用系と待機系の独立したサーバでの運用となるため、機能上の制限はありません。

切替パーティションがつながっていない場合、指定された切替パーティションのウィルスチェックジョブは失敗となります。ただしスケジュールは正しく更新されます。

## 動作環境

eTrust Antivirus は、100 シリーズの Windows Server 2003 でのみサポートします。

## ライセンス

現用系と待機系の様に複数のサーバにインストールする場合は、サーバ数分のライセンスが必要となります。

## インストール手順

eTrust Antivirus のインストールは現用/待機両系別々に、ローカルディスクにインストールします。eTrust Antivirus のインストール自体は、クラスタを構成するすべてのサーバにインストールすること以外は、通常のインストールと同じです。

## 注意事項

- (1) クロスコールディスクのウィルスチェック中にフェイルオーバーグループの移動(停止)を行うと、クロスコールディスクの切り離しに失敗して、フェイルオーバーが発生します。クロスコールディスクへのウィルスチェック中には、フェイルオーバーグループの移動は行わないでください。
- (2) クラスタを構成するサーバは eTrust Antivirus 管理サーバで同じ組織に割り当ててください。eTrust Antivirus 管理サーバは、クラスタを構成するサーバのいずれか一台、またはクラスタ構成サーバ以外の別サーバに割り当ててください。